

2017年5月10日

株式会社 真城ホールディングス

2017年 今年の夏もエコチャレンジ!

株式会社真城ホールディングス（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長 真城 貴仁）は、5月より10月までの間、従業員の服装を、ノージャケット・ノーネクタイにするなど涼やかなワークスタイルに変更。軽装での「クールビズ」はもちろん、日差しの当たる窓にはブラインドをおろし室温の上昇を抑えるなど、従業員には無理なくできることを啓蒙し、今年も地球温暖化対策及び節電の取り組みを積極的に行います。

この他にも会社全体として行っている活動として、2010年11月より、プレイランドキャッスルワンダー店で「見えタロー」を導入。「見えタロー」とは、『見える化』を通じて省エネ・コスト削減意識を醸成する環境評価対応プログラムの事で、使用電気量（電気代）の比較や、目標管理など、わかりやすい『見える化』コンテンツが充実。その取り組みやすさは従業員の参加意欲を高め、省エネ・コスト削減の意識づくりに効果を発揮。導入6年目の2016年には、導入比92%減少。約1.5ヶ月分の電気使用量減という大きな結果を出しています。今年度には、キャッスルグループ全店での導入も完了しました。この他の取り組みとして、キャッスルグループ全店の蛍光灯をLEDライトに変更。また、特殊セラミックでエアコンのエネギーコスト削減できる「CONTINEWM」も上社店に設置。エアコンのフィルターに特殊なセラミックを使用するという方法で、今年の夏で、年間で39トン（25mプール39個分の体積と同等）ものCO2を削減できる予定となっています。

地球にやさしい、 節電の夏



当店はクールビズを実施しています。

省エネ活動の一環として、
クールビズにて対応させて頂いております。
どうぞご理解のほど、お願い申し上げます。



MASHIRO
その歡びを、活きる力へ!

<http://www.p-castle.co.jp>